

海外安全対策情報（平成26年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

（1）インドネシア総選挙及び大統領選挙

4月9日、総選挙が全国で実施されましたが、当地では、さほど大きな混乱は発生しませんでした。また、来る7月9日が投票日の大統領選挙は、2組の正副大統領候補により、6月4日から選挙キャンペーンが行われておりますが、当地において両陣営の支援者間のトラブル等の問題は生じていません（6月末現在）。

（2）感染症

サウジアラビア等から当地へ帰国した者が、度々、発熱や咳の症状で病院へ入院し、「中東呼吸器症候群（MERS コロナウイルス）」への感染が疑われましたが、検査の結果、全ての患者が陰性であることが確認されました。

例年、4月以降の時期には、デング熱患者が増加する傾向にありますが、本年は例年に比べても患者数が増加し、バリ州保健局等が警戒を呼びかけました。（5月、在留邦人1名がデング熱により死亡しました。）

（3）飲酒運転・交通事故

4月28日、29歳の韓国人男性が飲酒運転により、オートバイや車3台に次々と衝突する事故を引き起こし、他人へ怪我を負わせた容疑で逮捕される事件が発生しました。また、オートバイを運転する外国人が死亡又は重体となる交通事故も複数発生したほか、交通事故が原因となり、若者グループの間で凶器を用いた乱闘となり、負傷者が出る事案も発生しました。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

外国人が被害となる事案として、依然として、観光地を中心に、ひったくり、スリ、置き引きといった盗難被害が多く発生しました。また、最近の特徴として、被害者がオートバイで走行中にひったくり被害に遭い、転倒して死傷する事件が発生するなど、危険な手口によるひったくり事件が複数発生しています。

（2）邦人被害事案

次のとおり、邦人の事件・事故が当館へ報告されました。

- ① 4月10日、クタ・レギャン地区で、旅行者4名が約10名からなる集団に取り囲われている間に、鞆のチャックを開けられて財布を抜き盗られた。
- ② 4月10日、サヌール地区で、在住者宅が空き巣に入れ、ノートパソコン等が盗まれた。
- ③ 5月3日、クタ地区で、旅行者がオートバイに乗った犯人に鞆をひったくられた。
- ④ 5月5日、ウブド地区（ウブド王宮内）で、旅行者が鞆を縁台に置き、少しの間目を離した隙に、鞆が盗まれた。

- ⑤ 5月16日、クタ地区で、在住者がオートバイに乗った犯人2人組に鞆をひったくられた。
- ⑥ 5月16日、在住者が自宅付近でオートバイを運転中に自損転倒し、頭部を強打して重傷（外傷性くも膜下出血）を負う事故が発生した。
- ⑦ 6月3日、バドゥン県で、在住者（男児）が自宅付近で遊んでいたところ、犬に咬まれる事案が発生し、狂犬病ウィルスへの感染の恐れから、病院で治療を受けた。
- ⑧ 6月初旬、在留者が自分の銀行口座から見覚えのない引き出しがあることに気づき、キャッシュカードのスキミング被害が疑われる事案が発生した（5月中旬に旅行者がクレジットカードのスキミング被害にあった旨の情報もあり）。
- ⑨ 6月23日、レギャン地区で、旅行者がオートバイ4～5台に乗った若者数名に付きまとわれ、肩に掛けていた鞆を強引に引っ張られ（ひったくり未遂）、その場で転倒して頭部に重傷（外傷性くも膜下出血）を負う被害に遭った。

（3）邦人以外の被害事例

主な外国人に関する被害は次のとおりです。

- ① 5月17日、デンパサル市内で、オートバイに2人乗車の若者が走行中、後方から追跡してきた犯人が、強引に鞆をひったくろうとした結果、オートバイが転倒し、後部座席に乗車していた韓国人女子高生が死亡する事件が発生した。
- ② 5月22日、ウブド地区で、ヴィラに滞在中の英国人女性が室内で刺殺されているのが発見され、その後の捜査により、被害現場近くの建設現場で働いていた作業員が強盗殺人容疑で逮捕された。
- ③ 5月23日、クタ地区で、ニュージーランド人男性がオートバイで走行中にひったくり被害に遭い、転倒して重傷を負う事件が発生した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ関連事案は発生していません。テロとの関連性は不明ですが、6月2日、西ヌサ・トゥンガラ州ビマにおいて、警察官が正体不明の2人組に襲われ、射殺される事件が発生しました。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上